



福岡市埋蔵文化財センターは、考古学情報の発信基地です。考古学講座や資料の展示だけでなく、各地の調査報告書がならぶ図書室もご利用下さい。

また施設見学では、市内で出土した考古資料をおさめた収蔵庫、木製品や金属器など出土遺物の保存処理の様子もご覧いただけます。

膨大な収蔵資料のなかから出土品の調査・見学も歓迎しますので、お気軽にご相談下さい

### 沿革・概要

古くから対外交渉の門戸として栄えた福岡市には1000箇所あまりの遺跡が所在しています。これらの遺跡の中で、板付遺跡や元寇防塁など一部の遺跡は国の史跡として、保存・整備を行い広く市民に公開しています。また都市基盤整備や宅地開発などでやむを得ず消滅する遺跡については、事前に発掘調査を実施し、記録保存に努めています。

埋蔵文化財センターは、発掘調査で出土した遺物や記録類を体系的に収蔵・管理し、多くの市民に活用していただくため昭和57年2月に開館しました。開館以来2度にわたって増改築を行い、収蔵庫、展示室、保存処理などの拡充や公開講座の充実をはかっています。

### 事業内容

- 収蔵事業 市内出土遺物（土器・石器・木器・金属器類）記録類（図面類・写真類）
- 遺物保存処理事業 木器保存処理、金属器保存処理
- 教育普及事業 展示、考古学講座の開催、考古資料の閲覧・貸し出し、図書の閲覧、広報、出前授業



## 福岡市埋蔵文化財センター Fukuoka City Archaeology Center



### 地図



ホームページ <http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/>

**所在地** 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-1-94  
Tel. (092) 571-2921 Fax. (092) 571-2825

**開館時間** 9:00~17:00（入館は16:30まで）

**休館日** 毎週月曜日・年末年始（12月28日~1月4日）

**入館料** 無料  
※団体見学で説明希望する場合は事前にお知らせください。

### 交通

- 西鉄バス：博多駅バスターミナル12番のりばから  
41番雑餉隈（ざっしょのくま）営業所行きに乗車約30分  
板付（いたづけ）中学校前（埋蔵文化財センター前）下車すぐ
- J R 鹿児島本線：南福岡駅から徒歩約25分
- 西鉄天神大牟田線：雑餉隈（ざっしょのくま）駅から徒歩約15分

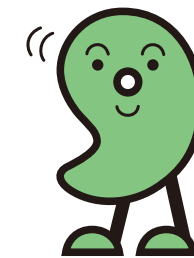
# 見学のしおり

## 福岡市埋蔵文化財センター案内

ようこそ福岡市埋蔵文化財センターへ。  
ここには遺跡から発見された発掘品や  
中世の博多のようすなど福岡市の歴史に  
関するいろいろなものがたくさん  
展示されているんです。



コウコちゃん



たまちゃん



しかさん



福岡市埋蔵文化財センター  
Fukuoka City Archaeology Center

## 収蔵施設

100万点以上の収蔵品!!



### 【一般遺物収蔵庫】

当センターの面積の半分以上を占める倉庫です。土器・石器などを収蔵しており、コンテナケースが11万箱以上おさめられています。必要な遺物は5分前後で探し出すことができます。

### 【弥生時代のお墓】

弥生時代にお墓として使用された甕棺です。収蔵庫には1,600基以上の甕棺がおさめられており、通路両側に並ぶ大量の甕棺は圧巻です。



### 【特別収蔵庫】

保存処理の終了した木器や金属器を、温度24度、湿度60%に保った部屋で収蔵し、保管します。



### 【記録類収蔵庫】

発掘調査で得られた写真類を、温度と湿度を一定に保った部屋で収蔵・保管します。



## 保存処理部門

遺跡から出土した木器や金属器は非常にいたみやすい状態にあります。それをよい状態で保管・展示するために化学的処理（＝保存処理）を行っています。いわば出土品のための病院です。



### 【木器保存処理室】

木器は保存処理を待つ間、乾燥しないように巨大なプールで水中に保管されます。木器の保存処理にはPEG含浸法や真空凍結乾燥法（フリーズドライ）などの方法があります。



### 【光学機器室】

出土品の内部の情報を調べるエックス線撮影装置や、肉眼では見えない細部を観察するための光学顕微鏡・電子顕微鏡、材質を調べる蛍光エックス線分析装置などの機器があります。



### 【金属器保存処理室】

金属製品はさびた状態で出土します。さびがこれ以上進行しないように劣化防止の処理をしたり、さびぶくれを削り、破片をくっつけて、もとの形に復元する作業を行います。



### 【遺構レプリカ】

発掘現場で見つかった住居などの遺構は、地面に直接つくられているために動かすことができません。とくに重要な遺構を残したい場合は、現地で型取りなどをしてレプリカ（複製品）をつくります。元岡遺跡の製鉄炉のレプリカなどを展示しています。

## 展示施設



### 【第1展示室】

当館で収蔵・管理する遺跡からの出土品や遺構の記録が活用したる流れを展示。木製品や金属器などの保存方法も紹介しています。



### 【第2展示室】

『魏志』「倭人伝」に登場する「奴国」が存在したとされる弥生時代と、国際都市であった中世「博多」の出土品を中心に展示しています。



### 【第3展示室】

当館にておこなっている保存処理の成果や公開講座にあわせたテーマ展、発掘調査速報展など短期の展示をおこなっています。

## 教育普及



### 【図書室】

福岡市内をはじめ日本全国の発掘調査報告書を所蔵。考古学や歴史学関連の専門書を含め約9万冊を有し、一般の方の閲覧もできます。



### 【公開講座】

毎年1つのテーマに焦点を当て、各分野の専門家を招いて1年に8回程度講座を開いています。



### 【出前授業】

専門の職員が各学校へ出向きます。鏡づくりや火おこしなど、遺跡の出土品にみる古代の技法をもとに授業をおこないます。